

平成 22 年 3 月 25 日発行
第 148 号

康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel: (0548)32-0701 緊急用:090-1758-1712 Fax: (0548)32-1280

「榛原医師会理事として“榛原病院『再生手術』”をお願いすること」

“質”を考え、毅然とした言動、後退せぬ責任 その - 加藤寿夫

以下は 2010.2. 榛原医師会報「心のひろば(第 376 号)」に投稿した原文です

「榛原医師会理事として最後の仕事 - その - 」2010.3.1.

榛原医師会理事 吉田町の担当者として、「榛原病院再スタート説明会(2010.3.2. 吉田町学習ホールにて)」にて、下記の内容発言を読み上げていただくように、榛原病院さんをお願いしました。

「榛原病院再スタート説明会」企画担当者御中

榛原医師会 理事 加藤寿夫と申します。私、医師会の理事として吉田町を担当しております。

今回「24 時間救急の受け入れ」を、前面に出されて、徳州会さんに 榛南地域の医療の本管に関わる部分を担っていただけるというお話。私自身、大変有難く、受け止めております。

特に、内科から始めまして 外科までの 循環器科の拡充から手を付けられ、始められるという内容、是非 お願いしたいと考えます。

そして、更に次には、矢張り、本筋の救急の本管、脳外科・小児科ではないかと 当然の如く お願いしたい思いが募っております。強請り過ぎでしょうか？

折角、茂庭将彦院長のみえます産婦人科が現時点での、これが中核の病院となっていますので、是非 小児科の充実をお願いしたいと考えます。

更に、我々 榛原医師会医師団、私が 49 歳で 吉田町では 1,2 番目の若手となってしまう状況、高齢化している開業医の地域の実状は否めません。そんな状況で御座いますが、徳州会さんとの、予防を含めた医療業務の“仕分け”、一般の予防接種・健診等との“割り振り”については、行政との話し合い、交渉の上で、地域住民の利益を第一に優先に、ここには十分な配慮をしていただく事で、宜しくお願いしたいと考えます。

繰り返しになりますが、先ずは、榛南地区の 地域住民の願い、我々医師会 医師団の願いと致しましては、矢張り、当たり前命を救える患者さんに対する救急医療の拡充。榛原医師会の理事の私の立場からは、先ず此処を担って頂きたいと、重ね重ね お願い申し上げます。

あと 一点 質問なのですが、吉田町町長 田村典彦氏にお聞きしたいのですが、2/26 の静岡新聞の榛原支局 安本氏の指摘のように「自治体間での情報共有不足 ... “不協和音”」、このような新聞記事、気になる処、なのですが...

数ヶ月前、院長 茂庭院長先生が 管理者 西原市長に 辞表を提出した。西原市長が撤回をお願いした。この撤回を茂庭院長先生が受け入れた。今後も榛南でやっていくと決められた。不甲斐無いとも受け取れる決断をされた。

噂ですが、この撤回承諾の日。茂庭先生が榛南地区を見捨てられないと決断を下された日。榛原南地区 榛南の、吉田町にとっても一大事の、大変 大切な日。この席に、田村典彦町長お見えにならなかったと 聞きしましたが 事実でしょうか？ お聞きしたいと、お願いします。

更に 本当の処、吉田町 この町の長としての 田村典彦氏のお考え、説くとお聞かせ下さい。

(町長さん見えなければ、責めて、西原市長さん、一言お願いします。)

以上につき報告 致します。

平成 22 年 3 月 1 日 加藤寿夫

追伸：尚、田村典彦氏 吉田町町長宛てには、別紙書面を 2/28 提示しております。

後日、元医師会長でもある 本院創始者 加藤康二から 「不甲斐無い」という言葉について、使い方が誤りで、茂庭院長に失礼でないかとの指摘を受けました。この件については、私の感性から物申し、誤解を生じていると致しましたら、お詫び申し上げると共に、何を申し上げたのかを整理致しました。

また、先月号康寿診報第 147 号 P1 に掲載した 2010.2. 榛原医師会報「心のひろば(第 376 号)」に投稿した原文が、改変し〔 〕の部分削除したことを問われ、 「心のひろば」に掲載されない状況となりました。

で私が何を申し上げたのか、 の経緯については、次号・次々号の康寿診報の中で、述べてみたいと思います。

第 80 回 睦会プログラム

日時：平成 22 年 4 月 17 日(土)

場所：吉田町立図書館

受付：12 時 30 分～

開会：13 時 (15 時 10 分 終了予定)



「開会の言葉」睦会会長 杉山富三男さん

「来賓あいさつ」静岡県糖尿病協会会長 田中彰さん

第一部 13:05～13:55 司会 大川美枝子

「糖尿病の内服薬について」 13:05～13:35

(株)はいやく 吉田薬局 薬剤師 大石晃弘先生

「インスリン療法について」 13:35～13:55

(株)はいやく 吉田薬局 薬剤師 諏訪泰先生

- 休憩 (血糖測定) - 13:55～14:10

第二部 14:10～15:10 司会 大石佳容子

「いざという時の非常食」 14:10～14:30

加藤内科医院 管理栄養士 杉山晴子

「糖尿病治療の ABC を求めて」 14:30～15:00

加藤内科医院 院長 加藤寿夫

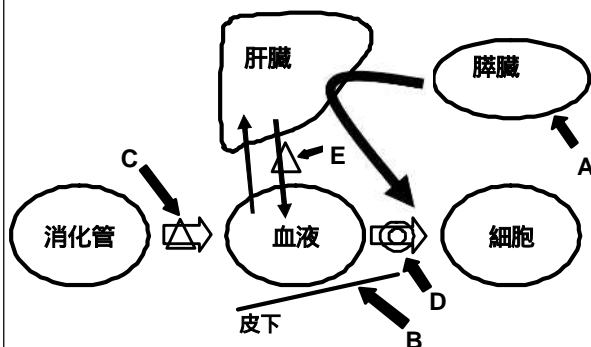
「閉会の言葉」 睦会会員 鈴木文夫さん

参加は無料、糖尿病・メタボ等に 興味をお持ちの方は自由に参加して下さい。

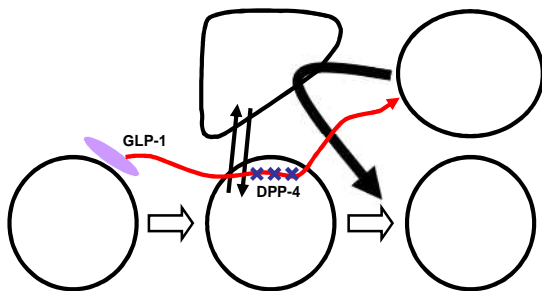
「DPP-4 阻害剤について」

院長 加藤寿夫

あなたの薬は何をしているのか（糖尿病の治療）



DPP-4阻害剤の作用機序



シタグリプチン (商品名: ジャヌビア・グラクティブ)

数年後糖尿病の第一選択薬になるか? 「たぶん“Yes”である」

“No”と考えるのであれば、危惧されている点は膵炎、発癌性、血管浮腫の問題である。
シタグリプチン以外のDPP-4阻害剤の、安全性は別問題と考えるべき?

<糖尿病治療薬>

【康寿診報第 82 号 P3 より改変】

A 経口血糖降下剤 (アリアム、グリコピク、ファスリック、スターシス、グリアスト)
経口血糖降下剤は字が物語っているように、口を経て飲み込み、血糖を降下させる剤(薬)です。作用部位は 膵臓のランゲルハンス島 細胞で「インスリンをもっとたくさん作って下さい」と働きかける薬です。膵 細胞に余力があり「はい、わかりました、がんばります」という状態の時に適応となります。肥満や運動不足の状態働きづめの膵臓には使いにくい薬です。

B インスリン
インスリンを皮下へ注射し、体外から補うことで、血中に吸収され前回(康寿診報第 81 号 P3 参照)紹介したように、血液中の糖を細胞内へ運び込む仕事をしています。膵 細胞がインスリンを作る力を失った時に絶対適応となりますが、膵が完全に疲弊する前の早期に使用し 膵臓を休ませてあげることに、インスリン分泌が復活して インスリン自己注射がやめられる方も多くみられます。

<糖尿病治療補助薬>

C 消化吸収抑制剤 (グルコバイン、イソセプト)
消化管での消化吸収を遅延させ、糖分が一気に吸収されないように働く薬です。食前の血糖は経口血糖降下剤・インスリンによる是正が基本ですが、食前の血糖値は良いのに食後の血糖値が上がり過ぎてしまう状態の時に使うと効果的です。

D インスリン抵抗性改善薬 (アクト)
インスリン抵抗性とは、運動不足や肥満により全身の細胞が過剰栄養の状態になっており、食後、膵臓からインスリン追加分泌がなされ血液中の糖を細胞内に送り込もうとしても、細胞のエネルギータンクがいっぱいで「栄養分はこれ以上いりません」という状況であり、糖分をスムーズに取り込めない状態をいいます。

インスリン抵抗性改善薬は、肥満や運動不足を改善した上での投与が絶対条件です。その上で、血液中の糖を全身の細胞に送り込むこと、取り込ませることがスムーズに出来るよう改善する薬です。

E ビグアナイド剤 (ジビタ、ダット、ルビグ、グリコ)
肝臓は、血液中の過剰な糖分を取り込み、グリコーゲンという形で蓄えます。逆に糖分が足りなくなった時、蓄えたグリコーゲンを分解し、糖分として血液中に戻してやる仕事を同時に行っています。ビグアナイド剤の主な作用部位は、肝臓のグリコーゲンを血液中に戻す仕事を抑えてしまうことです。インスリンはしっかり出ているのに、肥満などで血液中の糖分をうまく利用できない人に効果的です。
この薬は、糖尿病専門の施設では、糖尿病治療薬 A・B との最初の併用薬として、効果も確実で多く使用されています。

糖尿病治療の新薬である「DPP-4 阻害剤について」解説する、

現在、糖尿病の勉強会という「シタグリプチン(商品名: ジャヌビア・グラクティブ)」をはじめ、10 回のうち 7,8 回はこの「GLP-1 を介する薬物」の話題である、

関西電力病院の清野裕先生が、面白い言い方をされています、「GLP-1、何をしているか?」「食物が、消化管を通った時、消化管の中に入った時、血糖の上昇を予知して、インスリン分泌の促進を促す、用意をさせる・準備をさせる物質である」と言われました、見事な表現だと思ったのですが、そんな物質が GLP-1 です、

GLP-1 が、消化管から血中に出てくると、GLP-1 は DPP-4 という物質によりすぐに潰されてしまう、その DPP-4 を阻害するのが「DPP-4 阻害剤」ということで「シタグリプチン(商品名: ジャヌビア・グラクティブ)」というお薬であるということです、

「数年後、現在の糖尿病治療の第一選択薬が DPP-4 阻害剤になるか?」ということですが、90%以上の糖尿病専門の医師は「多分、“Yes”であろう」と答える状況になってきています、「No」と考えるとして 危惧されている点は、膵炎の問題、発癌性の問題、血管浮腫の問題ですが、シタグリプチンという薬に関しては、この問題もまず無いだろうという話になってきています、

GLP-1 という物質が素晴らしいのは、低血糖を絶対起こさない、消化吸収がなされ血液中の糖分が高くなってくると、消化管から分泌され、食後血糖が高くなった状態の時だけ、膵臓に働き「膵臓さん、もっとインスリンを作って下さいよ」という作用をなす物質なので、低血糖は絶対起こさない、単独では低血糖を起こさない、ここが大変素晴らしいところです、

ただし、この「シタグリプチン」に関しては、かなりの安全性が確立されてきていますが、他のシタグリプチン以外の DPP-4 阻害薬の安全性は、ちょっと違うのではないかと、ということもかなりいわれている、一つひとつ確かめていかなければいけない、ある意味 PPAR- α の系統の薬「ノスカール」という薬が、肝障害でダメになった、「アクトス」は大丈夫である、要するに、ほとんど同じ系統の物質であっても ちょっとした違いで予期せぬ副作用の為 抹殺される薬剤もある、そここのところは把握しておかなければならない、その様に思われます、

以上 P3 の内容は「橋原医師会 40 周年記念誌」に 2010.2.25. 投稿した原文です

《勉強会のご案内》

8/21 は、新薬についても
お話しします。(P3 参照)

毎月通常の勉強会は原則第 3 土曜日 13:00 から開催です。
都合の付かない方には、ビデオ・DVD 学習をお勧めします。

4 月 17 日(土)	第 80 回 睦会
5 月 15 日(土)	運動療法について
6 月 12 日(土)	インソール療法について
7 月 10 日(土)	糖尿病とは
8 月 21 日(土)	薬物療法について
9 月 11 日(土)	低血糖について

《診療案内》

毎日朝 8:00 より 5 分間 阿波踊りの
練習をしております。是非御一緒に！

診療時間	月	火	水	木	金	土
8 時～12 時						
15 時～18 時						

受付最終時間 厳守 とさせていただきます。

「朝の挨拶」の為 一般診療開始は 8:30 からです。
午後の受付は 初診は 17:30 まで 再診は 17:45 まで です。
休診日:日曜・祝日 木・土曜の午後 月末最終日の午後

ビデオ・DVD 学習は、個人の希望にも随時応じております。希望される方は、職員まで申し付け下さい。
今月「第 80 回睦会」は、“糖尿病治療の ABC を求めて”をテーマに、本院の糖尿病治療の実際そしてメタが
健診を成熟させる為には何が必要か、皆さんと考えてみたいと思います。吉田町図書館にて開催します。
杉山晴子管理栄養士による「加藤さん家の食卓実習」調理実習を 5/15(土)・6/12(土) 9:30～12:00 実施しま
す。食材費 500 円のみで プロのテクニックを自分の食卓へ応用して下さい。詳しくは栄養士杉山へ。

【花粉症に対する西洋医学による治療】

《内服で用いる抗アレルギー剤》

「振り分け型・バランス型」

タリオン OD 2錠/2×1 または ジルテック 1錠/1×1

他に ケトテン 2カプセル/2×1

「鼻閉型にも効果の強いもの」

アレロック 2錠/2×1

「眠気の弱いもの・無いもの」

エバステル OD 1錠/1×1

アレグラ (30)(60) 2錠/2×1

オノン (112,5) 4カプセル/2×1 または シングレア 1錠/1×1

は後発品(通称:ゾロ)と呼ばれるものです。
先発品の特許期限が切れて、薬価が 30～80%程度に抑えられて販売されている薬剤です。



《鼻症状に対して局所的に》

ナゾネックス鼻注 1回/1×1(左右点鼻)または エリザス 1カプセル外用鼻注/1×1

他にフルナーゼ鼻注 2回/2×1(左右を1日2回)、ペンブリン AQネザル 鼻注 4回/4×1

鼻閉症状がひどい時 トーク点鼻 随時屯用

《眼症状に対して局所的に》

パタノール点眼 4回/4×1 または クモロール点眼 4回/4×1

眼症状がひどい時 オドメール点眼 随時屯用

《“チャオ御岳”リゾートツアー案内》

御岳山の麓で、残雪の中に立ちこもり、戯れ・語り合いませんか!!
下記の日程にて、ツアーを企画しました。ぜひ参加してください。

第 回 5/4(火) 5(水)

《臨時休診のお知らせ》

お薬を切らさないようにお気をつけ下さい。

4/5(月)・30(金), 5/1(土)・8(土)は 休診です。

: 日和田ロジ泊 ¥4,000 (5/4 は 208 号室です)
リフト券 1日券 ¥3,000 [大人] 車代: ¥3,000
夕食・朝食の食事代込みの料金、飲み放題です。
小学生以下の子供さんの宿泊は半額、リフト券は無料です。
詳細については職員までお問い合わせください、リゾート宿
泊・日程につきお話しします。